



平成18年3月期 第3四半期財務・業績の概況(連結)

平成18年1月30日

上場会社名 株式会社日清製粉グループ本社

上場取引所 東 大

コード番号 2002

本社所在都道府県

東京都

(URL <http://www.nisshin.com>)

代表者 役職名 取締役社長 氏名 長谷川 浩嗣

問合せ先責任者 役職名 総務本部 広報グループ長 氏名 稲垣 泉 TEL (03) 5282-6650

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
・固定資産の減価償却の方法については、影響が僅少なため、簡便な方法を採用しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
・連結(新規) 3社 (除外) 1社 持分法(新規) 1社 (除外) 1社

2. 平成18年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成17年4月1日～平成17年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第3四半期	317,977	2.1	16,095	△4.4	18,237	△0.4	9,888	1.0
17年3月期第3四半期	311,499	△6.8	16,841	1.1	18,307	3.6	9,790	9.6
17年3月期	416,222		22,896		25,120		13,597	

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18年3月期第3四半期	39	04	39	02
17年3月期第3四半期	42	34	42	32
17年3月期	58	06	58	00

(注) ①平成17年11月18日付をもって普通株式1株を1.1株に分割いたしました。

②株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の平成17年3月期第3四半期及び平成17年3月期の1株当たり四半期(当期)純利益はそれぞれ38円49銭及び52円79銭であります。

③株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の平成17年3月期第3四半期及び平成17年3月期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益はそれぞれ38円48銭及び52円73銭であります。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

[当第3四半期の概況]

当第3四半期(平成17年4月1日から平成17年12月31日まで)につきましては、天候不順等による需要低迷と食品業界を取り巻く低価格志向が継続し、厳しい市場環境となる中、各事業において積極的な販売促進活動や新チャネル開拓を推進し、出荷伸長を図りました。この結果、売上高は3,179億77百万円(前年同期比2.1%増)と増収となりました。利益面では経常利益は182億37百万円(前年同期比0.4%減)、四半期純利益は98億88百万円(前年同期比1.0%増)となりました。

[セグメント別営業概況]

①製粉事業

日清製粉(株)は得意先とのリレーションシップ・マーケティングを推進し、また昨年8月に発売した業務用プレミアム小麦粉「メゾンカイザートラディショナル」が順調に市場に浸透するなど小麦粉需要の拡大に努めましたが、国内の小麦粉市場が需要の伸び悩みから前年を下回る厳しい環境にある中、出荷はほぼ前年並となりました。また、コスト削減を着実に推進するとともに、国際競争力の一層の強化を図るため平成20年完成予定で東灘工場の増設工事に着手し、コスト体質強化に努めてまいりました。

副製品であるふすまにつきましては、国内における飼料向け需給がタイトであったことから、価格は堅調に推移しました。

海外事業につきましては、カナダのロジャーズ・フーズ㈱の新製粉工場が順調に稼働率を高め、出荷伸長を図るとともに、米国西海岸への販売も開始いたしました。

②食品事業

日清フーズ㈱につきましては、加工食品業界全般として需要の伸び悩みが著しく、又低価格志向も継続している状況のなか、「マ・マー」ブランド誕生50周年キャンペーンをはじめとする積極的な販促活動を推進した結果、パスタ、パスタソース、プレミックス、冷凍食品の出荷はいずれも前年を上回りました。一方、家庭用小麦粉、乾麺の出荷は前年を下回りました。中食・惣菜事業では昨年9月に埼玉・白岡に惣菜工場を竣工し、10月にイニシオフーズ㈱と㈱三幸を経営統合するなど事業基盤、経営体質の強化を図りましたが、当初計画いたしました事業の進展に対しては未達となっております。また海外事業につきましては、北米、タイ、中国の各拠点とも売上げは前年を上回りました。特に、中国プレミックス事業においては好調な業績を踏まえて、製造能力の倍増に着手いたしました。

オリエンタル酵母工業㈱につきましては、食品部門では新製品提案など積極的な営業施策の推進によりイースト、フラワーペースト等の出荷が前年を上回るとともに、イーストや各種食品添加物の製造・販売会社であるエスケーフーズ㈱が昨年7月より事業を開始し、売上げは前年を上回りました。またバイオ部門ではバイオニュートリショナル製品の出荷は順調に推移しましたが、養魚飼料や飼料受託事業が低迷し、売上げはほぼ前年並みとなりました。

日清ファルマ㈱につきましては、主力のコエンザイムQ10において付加価値の高い水溶性コエンザイムQ10製品の市場への浸透に注力いたしました。特に、消費者向け製品における品揃えの強化と各種媒体を活用した広告宣伝活動を展開し、水溶性コエンザイムQ10製品の認知度を高めました。

③その他事業

日清ペットフード㈱につきましては、積極的な拡販施策を推進し、猫用フードの売上げはミックスタイプを中心としたドライ製品とレトルトを中心に前年を大きく上回り、犬用フードの売上げも前年を上回りました。

日清エンジニアリング㈱につきましては、景気拡大に伴う設備投資が引き続き回復局面にあることから、プラントエンジニアリングにおいて大口工事が順調に完工し、売上げは前年を大きく上回りました。

NBC㈱につきましては、主力のスクリーン印刷用メッシュクロスが高精細メッシュクロスの出荷増やシェアアップにより伸長したのに加え、産業資材用メッシュクロス、化成品とも売上げは順調に推移いたしました。また、昨年11月には生産設備の増強を図るため静岡県・菊川に新工場を増設いたしました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	総 資 産	株 主 資 本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	398,891	259,283	65.0	1,025 91
17年3月期第3四半期	372,230	236,737	63.6	1,023 94
17年3月期	372,968	241,282	64.7	1,042 92

【連結キャッシュ・フローの状況】

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第3四半期	15,622	△20,141	△6,814	42,847
17年3月期第3四半期	14,724	△11,951	△3,971	53,255
17年3月期	21,567	△17,590	△4,317	54,047

（注）株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の平成17年3月期第3四半期及び平成17年3月期の1株当たり株主資本はそれぞれ930円85銭及び948円11銭であります。

【財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等】

営業活動によるキャッシュ・フローは156億22百万円の増加となりました。この資金を投資活動では東灘工場増設など生産能力増強等設備投資に92億99百万円を投入しました。財務活動では株主の皆様への利益還元として増配及び自己株式取得を行い、これらに前年を30億95百万円上回る59億82百万円支出しました。一方、今後の戦略投資等に対応する待機資金としての手許資金の運用効率を高めるため111億40百万円を3ヶ月を超える有価証券等の運用に支出しました。

この結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物は前連結会計年度末比111億99百万円減少し、428億47百万円となりました。

○添付資料

要約四半期連結貸借対照表、要約四半期連結損益計算書

要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書、セグメント情報

[参 考]

平成18年3月期の連結業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
通 期	百万円 422,000	百万円 24,700	百万円 13,200

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 51円55銭（第3四半期末の普通株式の発行済株式数（連結）により算定）

[業績予想に関する定性的情報等]

（修正の理由）

小麦粉、ドライ加工食品など主力製品の需要の伸び悩みと低価格志向が継続する厳しい状況となっていることに加え、中食・惣菜事業の売上げ進捗が計画を下回っていることから、通期業績予想の数値を修正することとしました。

（注）上記の予想は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値等を確約したり、保証するものではありません。

(添付資料)

1. 要約四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期) (16. 12. 31)	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期) (17. 12. 31)	比 較 (△ は 減)	前連結会計年度 (17. 3. 31)
(資 産 の 部)				
流 動 資 産	171,039	174,137	3,098	170,349
現 金 及 び 預 金	53,273	50,935	△2,338	54,065
受取手形及び売掛金	63,784	63,879	94	59,468
有 価 証 券	3,943	10,150	6,207	6,783
た な 卸 資 産	37,379	37,268	△111	38,580
そ の 他	12,900	12,113	△787	11,663
貸 倒 引 当 金	△241	△208	33	△211
固 定 資 産	201,190	224,754	23,563	202,618
有 形 固 定 資 産	109,185	110,662	1,477	108,860
建物及び構築物	41,848	42,559	710	42,407
機械装置及び運搬具	31,905	32,013	107	32,741
土 地	29,245	30,699	1,454	29,729
そ の 他	6,185	5,389	△795	3,982
無 形 固 定 資 産	9,307	8,313	△993	9,124
投資その他の資産	82,698	105,778	23,079	84,634
投 資 有 価 証 券	75,068	100,242	25,173	77,262
そ の 他	8,260	5,981	△2,278	8,002
貸 倒 引 当 金	△629	△445	184	△630
資 産 合 計	372,230	398,891	26,661	372,968

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期) (16.12.31)	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期) (17.12.31)	比 較 (△ は 減)	前連結会計年度 (17.3.31)
(負 債 の 部)				
流 動 負 債	71,216	70,198	△1,018	67,380
支払手形及び買掛金	30,638	29,898	△740	28,599
短 期 借 入 金	8,350	8,077	△272	8,115
未 払 費 用	12,616	12,896	280	13,623
そ の 他	19,611	19,325	△285	17,041
固 定 負 債	37,832	42,691	4,859	37,545
長 期 借 入 金	1,779	1,685	△93	1,680
繰 延 税 金 負 債	12,362	20,488	8,125	13,014
退職給付引当金	15,564	13,285	△2,279	14,928
そ の 他	8,126	7,232	△893	7,921
負 債 合 計	109,049	112,890	3,840	104,925
(少 数 株 主 持 分)				
少 数 株 主 持 分	26,443	26,717	274	26,760
(資 本 の 部)				
資 本 金	17,117	17,117	—	17,117
資 本 剰 余 金	9,451	9,485	34	9,452
利 益 剰 余 金	186,887	196,834	9,946	190,699
その他有価証券評価差額金	25,543	39,628	14,085	26,688
為替換算調整勘定	△823	△613	210	△1,216
自 己 株 式	△1,438	△3,168	△1,730	△1,459
資 本 合 計	236,737	259,283	22,545	241,282
負債、少数株主持分 及 び 資 本 合 計	372,230	398,891	26,661	372,968

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期) (16. 4. 1～16. 12. 31)	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期) (17. 4. 1～17. 12. 31)	比 較 (△ は 減)	前連結会計年度 (16. 4. 1～17. 3. 31)
売 上 高	311,499	317,977	6,477	416,222
売 上 原 価	211,051	215,570	4,518	283,455
売 上 総 利 益	100,448	102,406	1,958	132,766
販売費及び一般管理費	83,606	86,311	2,705	109,870
営 業 利 益	16,841	16,095	△746	22,896
営業外収益	2,298	2,704	406	3,358
受 取 利 息	39	66	27	58
受 取 配 当 金	544	695	150	705
持分法による投資利益	860	1,204	344	1,011
そ の 他	853	737	△115	1,582
営業外費用	832	561	△270	1,134
支 払 利 息	143	116	△27	197
そ の 他	688	445	△242	937
経 常 利 益	18,307	18,237	△70	25,120
特 別 利 益	742	578	△164	1,397
固定資産売却益	87	227	139	120
投資有価証券売却益	551	242	△308	1,277
そ の 他	103	107	4	—
特 別 損 失	998	495	△502	1,455
固定資産除却損	621	127	△494	1,185
事務所移転関連費用	—	274	274	—
そ の 他	376	93	△283	269
税金等調整前四半期（当期）純利益	18,051	18,320	268	25,062
法人税、住民税及び事業税	6,635	7,027	392	8,525
法人税等調整額	—	—	—	890
少 数 株 主 利 益	1,626	1,404	△222	2,048
四半期（当期）純利益	9,790	9,888	98	13,597

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

3. 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期) (16. 4. 1～16. 12. 31)	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期) (17. 4. 1～17. 12. 31)	前連結会計年度 (16. 4. 1～17. 3. 31)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期（当期）純利益	18,051	18,320	25,062
減 価 償 却 費	8,642	8,966	11,682
利息及び受取配当金	△440	△646	△566
持分法による投資利益	△860	△1,204	△1,011
売上債権の増減額（増加：△）	△8,442	△3,840	△4,201
たな卸資産の増減額（増加：△）	△3,476	1,559	△4,740
仕入債務の増減額（減少：△）	7,771	791	5,765
未成工事受入金の増減額（減少：△）	3,682	△1,357	2,651
そ の 他	△670	27	△3,078
小 計	24,258	22,616	31,563
利息及び配当金の受取額	676	840	839
利 息 の 支 払 額	△152	△111	△195
法人税等の支払額	△10,058	△7,723	△10,638
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,724	15,622	21,567
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入れ・払戻し（預入れ：△）	0	△8,067	0
有価証券の取得・売却（取得：△）	△348	△3,073	△3,207
有無形固定資産の取得による支出	△12,457	△9,299	△16,052
投資有価証券の取得・売却（取得：△）	570	△401	1,301
そ の 他	284	699	369
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,951	△20,141	△17,590
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
借入金の増減額（減少：△）	△576	△149	△884
自己株式の取得による支出	△107	△2,402	△133
配当金の支払額	△2,780	△3,580	△2,780
そ の 他	△507	△681	△519
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,971	△6,814	△4,317
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	88	133	21
V 現金及び現金同等物の増減額（減少：△）	△1,110	△11,199	△317
VI 現金及び現金同等物の期首残高	54,154	54,047	54,154
VII 合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	210	—	210
VIII 現金及び現金同等物の期末残高	53,255	42,847	54,047

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

4. セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当四半期（平成18年3月期第3四半期 平成17年4月1日～平成17年12月31日）

（単位：百万円）

	製 粉	食 品	そ の 他	計	消 去 又は全社	連 結
売上高						
（1）外部顧客に対する売上高	115,470	169,296	33,209	317,977	（－）	317,977
（2）セグメント間の内部売上高又は振替高	13,649	710	1,477	15,838	(15,838)	－
計	129,120	170,007	34,687	333,815	(15,838)	317,977
営 業 費 用	121,592	164,299	31,230	317,123	(15,241)	301,882
営 業 利 益	7,527	5,707	3,456	16,692	(597)	16,095

前年同四半期（平成17年3月期第3四半期 平成16年4月1日～平成16年12月31日）

（単位：百万円）

	製 粉	食 品	そ の 他	計	消 去 又は全社	連 結
売上高						
（1）外部顧客に対する売上高	116,761	167,023	27,714	311,499	（－）	311,499
（2）セグメント間の内部売上高又は振替高	15,226	569	1,444	17,240	(17,240)	－
計	131,988	167,592	29,159	328,740	(17,240)	311,499
営 業 費 用	123,870	161,448	25,577	310,896	(16,238)	294,657
営 業 利 益	8,118	6,144	3,582	17,844	(1,002)	16,841

前連結会計年度（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

（単位：百万円）

	製 粉	食 品	そ の 他	計	消 去 又は全社	連 結
売上高						
（1）外部顧客に対する売上高	154,888	218,529	42,804	416,222	（－）	416,222
（2）セグメント間の内部売上高又は振替高	19,211	764	2,326	22,301	(22,301)	－
計	174,099	219,294	45,130	438,524	(22,301)	416,222
営 業 費 用	163,127	211,311	40,096	414,535	(21,209)	393,326
営 業 利 益	10,972	7,982	5,034	23,988	(1,092)	22,896

（注）1. 事業区分の方法は、製品の種類の類似性を考慮して行っております。

2. 各事業区分の主要製品

製 粉…小麦粉、ふすま

食 品…プレミックス、家庭用小麦粉、パスタ、パスタソース、冷凍食品、チルド食品、

製菓・製パン用資材、生化学製品、ライフサイエンス事業、健康食品

その他…ペットフード、設備工事、メッシュクロス、荷役・保管